

## 近世④「江戸時代中期」

## 幕藩体制の展開 (江戸時代中期の産業・元禄文化を含む)

A



7分

1. 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

江戸時代には、各地に都市が発達し、あ三都と呼ばれた3つの都市はとくに栄えた。この時代には、い新田の開発や農具の改良が進み、農業生産が向上した。また、網の改良が進んで漁業もさかんになり、う九十九里浜でとれた（え）は、干鰯と呼ばれる肥料に加工された。お鉱山の開発が進んで、貨幣も多くつくられた。

か交通も発達し、農産物や海産物などは船によってさかんに輸送された。

江戸時代には、き17世紀後半から18世紀前半にかけて、上方を中心に町人の文化が栄えた。この文化を当時の年号（元号）に由来して元禄文化げんろくという。江戸時代には、幕府や藩が学校をつくり、学問がさかんになった。

(1) 下線あについて述べた文として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 名古屋は尾張徳川家の城下町として栄えた。
- イ 大阪は古くから都が置かれ、伝統工芸などが発達した。
- ウ 京都は商業がさかんで、「天下の台所」と呼ばれた。
- エ 江戸は、人口が集中し、「将軍のおひざもと」と呼ばれた。

[1]

(2) 幕府や各藩が下線いを積極的に進めた理由を簡単に答えなさい。

[2]

(3) 下線うの位置を右の略地図中のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

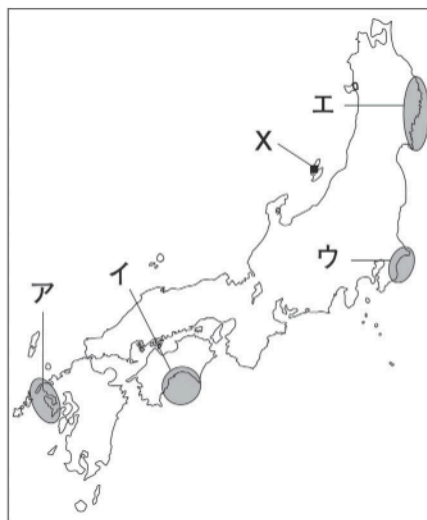
[3]

(4) （え）にあてはまる魚介類を答えなさい。

[4]

(5) 下線おについて、右の略地図中にXで示した金山の名を答えなさい。

[5]



次ページにつづく▶▶▶

(6) 下線かについて述べた文として**不適當なもの**を次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 樽廻船や菱垣廻船が、京都と大阪の間を定期的に往復した。
- イ 東海道や日光道中（日光街道）などの五街道が整備された。
- ウ 主要な街道には宿場が設置され、宿場町が発達した。
- エ 菜種油や酒、しょうゆなどの日用品も船を使って運ばれた。

[6]

(7) 下線きについて、次の問いに答えなさい。

① 江戸時代のはじめに、華やかな装飾画をえがいて活躍した人物を次から1人選び、記号で答えなさい。

- ア 井原西鶴
- イ 俵屋宗達
- ウ 雪舟
- エ 徳川光圀

[7]

② 江戸時代には美人画や役者絵など、町人の風俗を題材にした絵画が流行した。このような絵画を何というか。

[8]